

第29回ユニバーシアード冬季大会 クロカン30キ。フリー

馬場 金メダル

驚き与える圧巻の滑り



競技場のスクリーンに映し出された馬場のゴールシーン

大学生の世界一を決める位置でスタートした馬場の第29回ユニバーシアード冬季大会が3月2日から12日まで、ロシアのクラスノヤールスクで行われた。馬場直人(経営4・中野立志館高)がスキークロス・カントリー競技に出場。30キ。フリーで金メダルを獲得した。

地元ロシアの3選手に次ぐ、4番手のレースを進めた。25ギ地点でスタートをかけたところ、独走状態に。気づけば2位に30秒以上の大差をつけ、1時間10分20秒9でゴールした。優勝候補のロシア勢を大きく引き離して大会に臨んだ。

「大学4年間の経験を糧に、次の世界選手権やオリンピックで入賞、あるいは表彰台に立てるよう頑張っていきたい」と語る馬場。大学世界一という大きな実績を得た彼の活躍から目が離せない。(池村友輔・文)

カナダ大会で実力発揮

セブンス日本代表 野口

ラグビー部の野口宜裕(法4・早稲田摂陵高)が男子セブンス日本代表に選出され、ワールドラグビーセブンスシリーズの第5戦アメリカ大会(3月1〜3日、ラスベガス)と、第6戦カナダ大会(3月9〜10日、バンクーバー)の2大会に出場した。

アメリカ大会は15位タイで最下位、カナダ大会も14位とチームは厳しい結果に終わったものの、破した。カナダ大会で野口は得意のステップを駆使して何度も敵陣を突



カナダ大会のセブンス戦でフェイントをかける野口

フォーマンストラッカーで4位タイにランキングされるなど、実力を発揮した。

(高田康平・経営2)

決勝進出ならず

今井

全日本大学個人ボウリング選手権2月14〜16日、京都府・キョーイチボウル宇治

4年間の集大成として今大会に臨んだ今井康太(経営4・専大松戸高)

今井は「アベレージが伸びず、ボウリングが嫌いになることもあったが、諦めずに練習を続けたことが、今回の結果につながった。入賞には届かなかったが、4年間で最も良い結果で終わり、とてもうれしい」と語った。

(白鳥)



ダイナミックなフォームでピンを狙う今井

団体2位に貢献

坂井「個人戦の悔しさバネに」

フェンシング・アジアジュニア選手権2月27日〜3月8日、ヨルダン

フェンシング部の坂井真子(経営1・東亜学園高)が女子フルレール日本代表として出場。団体戦準優勝に貢献した。

坂井はジュニアワールドカップ2大会(ドイツ2月2、3日、オーストリア2月16、17日)にも参加。3大会の個人戦では健闘するも上位に食い込むことができなかった。「相手選手との体格差に苦しみ、自分らしい戦い方をすることができなかった」と坂井。しかし、「個人戦の悔しさをバネに、気持ちを切り替え挑んだ団体戦では結果を残せただけでなく、試合内容もとても満足している。悔しい思いもしたが、とてもいい経験ができた。遠征で得たことを今後の自分のプレーに生かしたい」と成長の心算を語った。

(白鳥順也・経営2)

石山、木村がV

卓球・サファイールオープン2月19〜26日、スウェーデン

関東学生卓球連盟の1部に所属する大学から男女各1人ずつが参加するこの大会。専大からは石山慎(人間科学1・開志)

国際高) 写真⑤、木村香純(経営1・四天王寺高) 写真⑥が出場し、石山が男子のクラス1で、木村が女子のU21でそれぞれ優勝した。

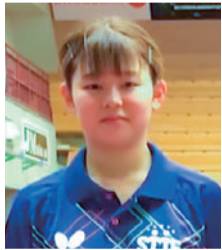
石山はトーナメントを勝ち上がり、決勝では川上尚也選手(早大)に3-2で勝利した。U21は3位に終わったものの大会を振り返り、「緊張し気込んだ。木村は持ち味である攻撃的なプレーで快進撃を続けトーナメントを制した。2位となったクラス1と同時に進んだ。決勝は体力勝負だと思いきや、集中力を切らさないように注意して試合に臨んだ」と話す木村。

第1セットを落としたがそこから巻き返し、3-1で冷静に戦術を組み替えたことが勝利につながった。優勝できてとてもうれしい。この経験を生かして、今後も結果を残せるように頑張りたい」と意気込んだ。

村山健人(商1)



カレンダー



▽アーチェリー部
4月6日〜8月11日(北区・味の素フィールド西が丘ほか)

▽アイスホッケー部
4月6日〜6月9日(西東京市・ダイードロインラグビー場)

▽アイスアリーナ
4月6日〜8月11日(北区・味の素フィールド西が丘ほか)

▽関東大学リーグ戦(前期)
4月14日(港区・秩父宮)

▽アイスアリーナ
4月6日〜8月11日(北区・味の素フィールド西が丘ほか)

▽関東大学リーグ戦(前期)
4月14日(港区・秩父宮)

専大スポーツ

No. 394

【専大スポーツ】 <https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>
【専大スポーツ編集Web】 <https://sensuppo.com/>

金メダルを手に笑顔の馬場 3月12日、表彰式



アジアジュニア選手権の賞状を手に日本代表メンバーと。後列中央が坂井